窪町だより

窪町小学校令和５年度７月号

窪町小学校ホームページ　URL: http://www.bunkyo-tky.ed.jp/kubomachi-ps/

「風と光と」　　校長　西幅孝弘

見慣れた風景を後にして八ヶ岳、魚沼のバスが茗荷谷駅前を離れました。見送りの方々にバスの中から手を振り私たちは出発しました。

集団で友だちと生活、行動することで、伸びていく「力」を今年も強く感じました。24時間、仲間と一緒に生活することで養われる「特別な力」を八ヶ岳や魚沼の美しい風景の中で見つめることができました。移動教室は体験活動の中で小さな問題解決が連続するプロジェクトベースドラーニング（問題解決型学習）の重要な機会となります。3日間の生活の中でぶつかる問題を子どもたちがどのように乗り越えていくのか見守りながら感じたことを記します。

子どもたちの日常は比較的多用であり、現在進行形で目の前に見える事象をみつめ、考え、行動選択をしていることが多いと思います。しかし、移動教室では現在の事象だけを対象に思考・判断をしていると、全体での行動に影響がでたり準備が整わなかったりして上手くいかないことがあります。したがって子どもたちは、視野を広げ、視点を変え、行動する前に結果を想像し自律し声を掛け合います。そして知らず知らずのうちに見通しを立てて行動する態度が身に付いていきます。目の前にはないものについて思いが及ぶようになるということです。

＊瞬間的に「こうしよう」「こうしたい」と考えて行動するのではなく「こうしたらどうなるだろう？」と近い将来を見据えてうまく乗り越えていくために、先を読むようになります。逆に「この後、こうしたいから、そうするために今どうしたらよいだろうか？」と考える場面も頻繁に見られるようになりました。
＊長い時間友だちと生活するため、趣味や関心事など違いがあるにせよ、互いにストレスなく少しでも快適に過ごすための選択や思考が自然に芽生えます。「こう言ったらあの子はどう感じるだろう？」と互いを思いやったり、譲り合ったりすることが当たり前のようにできるようになりました。
＊さらに、３日間、役割に対して一人ひとりが責任もつことで、今までは気にすることもなかった他者の苦労や努力もいっそう感じ取れるようになります。「気付くこと」でごく自然に「ありがとう」の言葉も増えていきました。その中で家族のありがたさやたいへんさを想い、改めて感謝している姿もありました。

このような子どもの成長に関わる私たちの実感、手応えは文部科学省の調査でも明らかになっています。5万人規模で過去に受けた経験や環境要因がその後の状況や意識にどのように影響するか「21世紀出生時縦断調査（20年間の経年調査）」として特別報告をしています。

結果によれば、体験活動の影響については、「我慢強さ」「チャレンジする気持ち（精神的回復力）」「自尊感情」「明るく楽しい気分で過ごす（精神的健康）」などで高得点を示し、学力の土台とも言える非認知能力の育成にプラスの効果があったとして報告されています。

これからも体験活動を充実させ、五感で感じる場面を意図的に設定し、意識し、風と光の中でのびのびと子どもたちのよさを生かし学びへの主体性を育んでいきます。

新時代を切り拓く力

（図画工作科　神田　真理）

最近ではインターネットや人工知能アプリケーションなどで、自分の経験を通さなくてもすぐに検索して答えが出る時代になりました。

けれど、図画工作科は、効率的にやればいいというわけでも、答えが決まっているというわけでもありません。子どもたちは、よい題材や、初めての材料に出会った時、体や心や頭をはたらかせ、時間を忘れてつくることに没頭します。

つくるという行為の中で、子どもは‘試行錯誤’という名の寄り道をし、自分の表現を追及しているうちに新しいことを閃き、没頭し、そして試行錯誤し…というループを繰り返しています。

その子だけのプロセスの中に、自主性、創造性などの学びが沢山あると思います。

今年度は12月に展覧会があります。是非、出来上がった作品を観ながら、作品についてお子さんと話す中で、経験したプロセスも一緒になって喜んで認めていただければと思います。

魚沼移動教室

（6年生担任一同）

6月12日からの3日間、「3Happy～ひとりはみんなのために　みんなはひとりのために～」をスローガンに、魚沼移動教室に行って参りました。

初日は、魚沼醸造工場や雪室の見学やキャンプファイヤー。2日目は、飯ごう炊さんのカレー作りに、魚沼市を回る「ゆのたにフォトラリー」。最終日は、歴史博物館と馬高縄文館で歴史について学んできました。

友達と過ごしたかけがえのない時間。みんなのために自分は何ができるのか。今回学んできた大切なことを、学校生活でも継続できるよう、担任一同共に歩んで参ります。

生活科 「どきどき　わくわく　町たんけん」

（2 年学年主任　伊藤　嘉則）

6 月に2回自分達の住んでいる地域の探検に行きました。

町探検の振り返りの感想では、「この場所に〇〇のお店があるのを初めて知りました。」「1回目のコースは、高いビルが多かったけれど、2 回目はお店が多かったです。」「駅の近くには、お店がたくさんありました。」などの感想を持ちました。

今後、国語科「こんなもの、見つけたよ」の学習で町探検の報告文を書いたり、生活科の学習のまとめとして発表会を行ったりする予定です。

八ヶ岳移動教室

（5年担任　片山邦夫）

5月29日～31日に、八ヶ岳移動教室に行って参りました。初日の天気は残念ながら雨。予定されていた飯盛山ハイキングはできませんでしたが、その代わりに天文台に行くなど充実した時間を過ごすことができました。2日目以降は、天気も回復し、予定通りの行程を行うことができました。自分達で調理した「ほうとう」の味に感動したり、森の中で自然を全身で体感したり、牧場で動物と触れ合うなど普段ではできない貴重な体験を行うことができました。

今回の移動教室では、多くの経験を通して、友達と協力することの大切さ、仕事への責任感、様々なことにチャレンジする大切さを学習した3日間となりました。今回学んだことを今後の日常生活にどのように生かしていくのか、これからの更なる成長に期待しています。